



TITLE:

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所"北浜"で過去6年間で最も早く出現したシロヘリハンミョウ(ハンミョウ科)

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所"北浜"で過去6年間で最も早く出現したシロヘリハンミョウ(ハンミョウ科). KINOKUNI 2016, 89: 16-16

ISSUE DATE:

2016-07-26

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/216292>

RIGHT:

発行元の許可を得て登録しています.

KINOKUNI, (81) : 12.

久保田 信. 2012b. アオスジアゲハ (チョウ目, アゲハチョウ科) の塩分補給を再度確認.

KINOKUNI, (82) : 14.

久保田 信. 2015. タテハチョウ科の一種の塩分補給. くろしお, (54)

久保田 信. 2015. アオスジアゲハとセセリチョウの 1 種 (チョウ目) 塩分補給 (2015年) .

KINOKUNI, (88) : 19

(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”で 過去6年間で最も早く出現したシロヘリハンミョウ (ハンミョウ科)

Earliest appearance of *Cicindela* (*Callytron*) *yuasai yuasai* Nakane, 1955 (*Cicindelidae*) at a
“Kitahama” beach of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, at Shirahama Town,
Wakayama Prefecture, Japan during these six years

久保田 信

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所の“北浜”では、過去4年間では決まって6月になると、海岸性のシロヘリハンミョウが、1日当たり、1-2頭初出現した(久保田, 2015a, b)。ただし、調査を開始した5年前の2011年には、7月1日であり、過去で最も遅い初出現日であった(久保田, 2015a)。直線距離で長さ400mほどの当該海岸で、ほぼ毎日、1回、年間を通してシロヘリハンミョウの出現頭数について調べているが、今回も過去4年間と同様に6月に出現したので記録する。

2016年の初出現日：6月2日。この記録は今迄で一番時期が早く、頭数も最多の4頭であった。これまでは昨年(2015)の6月7日が最も早かったので、それを5日更新した。今後の動向を継続調査したい。

久保田 信. 2015a. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に出現するシロヘリハンミョウ (ハンミョウ科). KINOKUNI, (87) : 20.

久保田 信. 2015b. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に出現するシロヘリハンミョウ (ハンミョウ科) の出現期間. KINOKUNI, (88) : 17.

(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)